



はだっこだより

秦幼稚園
令和8年度 第4号

朝夕の涼しさに秋の気配を感じるようになりました。トンボやバッタを捕まえて自然に触れたり、鬼ごっこをして全身を使って遊んだりしています。

生活や遊びの中で、子どもたちは『どうして?』『やってみたい!』という思いをもち、自分で試したり、友達と伝え合ったりしています。今回は、そんな子どもたちの姿をお伝えします。

夏休みの思い出を出し合って

始業式では、友達や先生との再会を喜んだ子どもたち。夏休みに経験した事や楽しかったことを話したり、聞いたりする中で、同じ体験をした友達と楽しさを共有する姿が見られました。

夏休みに、家族みんなで〇〇に行ったよ



一人一人が伝え合うことは、友達の経験を知るだけでなく「一緒だね」「楽しかったね」と気持ちを共有することにつながっています。

砂場でやってみよう!

砂場では、つないだ水路に水を流して遊んでいます。遊び中で、流れる物となかなか流れない物があることに気づき「どうしてかな?」と考えながら、身近にある物を使って試したり、比べたりしていました。

流れるのが早かった!
もっといっぱい流してみよう



自分で試してみること、新たな気づきや『もっとやってみたい』という思いが生まれています。

秋の自然に触れて

涼しくなり、虫の声が一段と大きくなりました。空にはたくさんのトンボが飛び、園庭にはいろいろな草花が見られます。秋の自然に触れ、季節の移り変わりを楽しんでいます。



虫捕り名人は、どこにどんな虫がいるのか、よく知っています。

捕まえた虫をじっと見つめたり、触れ方を考えたりする中で、生き物への興味や命を大切にする気持ちも育っています。



虫の扱い方を通して、命の大切さを知りました。

草に触ると「お辞儀をする草がある!」と気づき、何度も触っては、その不思議さを楽しんでいました。



どんな味かな?

園庭に咲く赤いサルビア。「花の蜜を吸ことができるよ」と声を掛けると興味をもって蜜を吸っていました。実際に味わってみたことで、感じたことを友達と伝え合う姿が見られました。

甘いよ!

ねえ、どんな味?



ある日の一コマ

捕まえたコオロギを見ていると「リ〜ン リ〜ン」と鳴きました。よく見ていると、羽を震わせて音を出していることに気づきました。「あっ、羽が震えて音が出た! ねえ、見て見て! 羽が震えたよ!」新しい発見を喜び、羽が震えることで鳴き声が聞こえることを、友達に知らせていました。

